



妻沼西中学校学校だより 学力調査号



埼玉県学力・学習状況調査の結果（すべての生徒を対象とする調査）



1 学力の状況と学力の伸び

埼玉県学力・学習状況調査は、小学校4年生から中学校3年生までを対象に実施され、本校では1～3年生が調査を受けました。調査結果は、生徒一人ひとりの現在の学力や学習状況を把握するとともに、継続して受検することで学力の伸びを捉え、今後の授業改善や個に応じた指導に生かすための資料として活用します。

学年	教科	本校	市町村平均	埼玉県平均
2年	国語	1	1	1
	数学	2	3	4
3年	国語	2	2	2
	数学	3	2	2
	英語	4	3	3

※学力の伸びについては、前年度との比較ができる2・3年生の結果を掲載しています。1年生も本調査を受けており、今回の結果を現在の学習状況を把握する資料として、今後の指導に活用します。

2年生は、国語の学力の伸びが市町村・埼玉県平均と同程度で、数学は平均を下回りました。3年生は、国語が市町村・埼玉県平均と同程度、数学は市町村・埼玉県平均を上回り、英語でも平均を上回る伸びが見られました。1年生についても、今回の結果から一人ひとりの学習状況を把握し、今後の指導に生かしてまいります。今後も、基礎的・基本的な知識・技能の定着と、学習したことを活用して考え、表現する学習活動の充実を図ります。

2 規律ある態度（「よくできる」「だいたいできる」の合計）

内容	項目	1年生	2年生	3年生
けじめのある生活	登校時刻	98.4%	92.9%	96.6%
	授業開始時刻	100%	94.6%	100%
	靴をそろえる	95.2%	91.1%	93.2%
	整理整頓	77.4%	76.8%	61.0%
礼儀正しく人と接する	あいさつ	87.1%	83.9%	94.9%
	返事	95.2%	98.2%	98.3%
	ていねいな言葉遣い	90.3%	82.1%	98.3%
	やさしい言葉遣い	90.3%	83.9%	93.2%
約束や決まりを守る	学習準備	96.8%	91.1%	96.6%
	話を聞き発表する	82.3%	80.4%	83.1%
	集団の場での発表	95.2%	92.9%	98.3%
	清掃・美化活動	96.8%	85.7%	94.9%

※埼玉県では、途中の達成目標を「よくできる」「だいたいできる」の合計80%以上としています。

多くの項目で県が目標とする 80%を上回り、特に「登校時刻」「授業開始時刻」「返事」「学習準備」「集団の場での発表」などに良好な結果が見られました。一方、「整理整頓」は全学年で 80%を下回り、課題が見られました。今後も学校生活の中で、学習用具や身の回りを整える習慣を継続して指導します。ご家庭でも、学習用具の準備や身の回りの整理について声かけをお願いいたします。

3 学習方略・非認知能力の結果から

本調査では、教科の学力だけでなく、学習への向かい方を支える「非認知能力」や、学習を効果的に進めるための「学習方略」についても調査しています。これらの結果も、生徒一人ひとりの学び方を捉え、授業改善や学習支援に生かしていきます。

学年	学習方略	非認知能力 (よさ・さらに伸ばしたいところ)	今後の指導
1 年生	学習方略は、市町村・県平均と比べて概ね同程度で、学習方法を工夫しながら取り組む姿が見られます。	【調査項目】「自分ならでき」と思って取り組む力（自己効力感）／人を思いやり、周りのために行動しようとする力（向社会性） 【よさ】自己効力感は市町村・県平均と概ね同程度です。 【さらに伸ばしたいところ】向社会性を高め、周囲と協力して行動する力を育てます。	学習の中で成功体験を積み重ねるとともに、対話や協働の場面を通して、他者を思いやり関わる力を育てます。
2 年生	学習方略は全体として市町村・県平均と大きな差はなく、項目によって強弱が見られます。	【調査項目】「自分ならでき」と思って取り組む力（自己効力感）／難しいことでもあきらめずに取り組み続ける力（やり抜く力） 【よさ】粘り強く取り組もうとする姿を大切にしています。 【さらに伸ばしたいところ】成功や成長を実感する機会を増やし、自分の力への自信につなげます。	できたことや学力の伸びを実感させ、目標に向かって粘り強く取り組む経験を積み重ねます。
3 年生	学習方略は全体として比較的安定し、市町村・県平均と同程度から一部でやや高い傾向が見られます。	【調査項目】「自分ならでき」と思って取り組む力（自己効力感）／やるべきことにまじめにコツコツ取り組む力（勤勉性） 【よさ】非認知能力は全体として市町村・県平均と大きな差はありません。 【さらに伸ばしたいところ】目標をもち、計画的・継続的に取り組む力をさらに伸ばします。	自分で目標を設定し、計画的・継続的に学習する機会を充実させ、自律的に学ぶ力につなげます。

※非認知能力は学年によって調査項目が異なります。本紙では、保護者の皆様にも内容が伝わるよう説明を添え、「よさ」と「さらに伸ばしたいところ」を整理しました。結果は単純な優劣ではなく、今後の指導に生かしていきます。

4 結果を踏まえた今後の取組

- 学習の目標や見通しを明確にし、学習後に自分の取組を振り返る活動を充実させます。
- 生徒が自分に合った学習方法を選択・工夫できるよう、「学び方」そのものについても指導します。
- できたことや伸びを認めることで自己効力感を高め、粘り強く学習に取り組む力を育てます。
- 対話や協働的な学習を通して、互いの考えを認め、他者と関わりながら学ぶ力を育てます。



5 個人結果票の返却について

調査結果については、個人結果票を生徒一人ひとりに返却します。ご家庭でも、お子様の現在の学力や学力の伸び、学習への向かい方などをご確認いただき、できていることや伸びたところを認めながら、今後の学習について話し合う機会としていただければ幸いです。学校でも、一人ひとりの結果を今後の学習指導や支援に生かしてまいります。

学校と家庭が連携し、生徒一人ひとりが自分のよさや成長を実感しながら、主体的に学び続ける力を育ててまいります。